

は じ め に

東京医療保健大学は平成 17 年（2005 年）度に開学し、医療及び保健の現場に役立つ専門職教育を第一の理念とし、横断性と専門性とを調和した実践、医学的観点からの栄養科学教育、デジタル化時代に対応できる情報のコミュニケーター教育、リスクマネジメント及び感染制御に関する教育、実践達成度評価に必要な統計学的教育などに力を入れ、国際交流に必要な英語教育の充実を図っております。

本学のこのような教育への真摯な取り組みを中心に、開学以降の教育研究等に係る実績を明らかにするため、完成年度を迎えた平成 20 年度に開学後初の自己点検・評価を実施しました。更にまたこの結果を踏まえて平成 21 年度においても自己点検・評価を実施いたしました。自己点検・評価の項目は、平成 23 年度に認証評価を受審する予定の財団法人大学基準協会が定める主要な 15 の自己点検・評価項目に基づいて行っております。

本学では、自己点検・評価によって、大学創設の原点に立ち返り、建学の精神及び教育理念等に基づき、医療分野において特色ある教育研究を実践することで時代の求める豊かな人間性、教養及び能力を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して新しい視点から総合的に対応し、解決することのできる人材の育成を目指し、一層の充実・発展を図ることといたしております。

また、自己点検・評価の結果を公表することにより社会への説明責任を果たすとともに、社会の評価を真摯に受けとめて、自己点検・評価に基づく「今後の改善・改革に向けた方策」を着実に推進することとし、学生にとって魅力ある大学となるよう不断の努力を行ってまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

東京医療保健大学長 小林寛伊